

「生命科学・医学系研究に関する情報公開文書」

研究課題名	骨髄異形成症候群に対するダルベポエチンアルファ投与についての多施設共同後方視的研究
研究の対象	2019年1月1日から2023年12月31日の間に、信州上田医療センター（入院・外来・訪問診療）において、「骨髄異形成症候群に伴う貧血」に対し「ダルベポエチンアルファ」を投与された方
研究の概要 （試料・情報の利用 目的及び利用方法）	研究目的： 骨髄異形成症候群（MDS）に伴う貧血に対し、赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファが2014年から使用可能となり、輸血のための通院を減らすなど生活の質の改善に役立つと考えられます。MDSに対するダルベポエチンアルファの投与状況と有用性について、当院を含む国内の現状を把握し、診療に役立てることを目的とします。 研究の方法： 患者さんの過去の診療情報を診療録（カルテ）から、ダルベポエチンアルファの投与状況、疾患の経過や、併存疾患、併用薬剤、介護サービスの利用状況、などについて情報収集を行い、匿名化したデータをもとに解析を行います。 東北医科薬科大学医学部 老年・地域医療学教室を中心に行う多施設研究の一環として、石巻市立病院からも情報を収集・提供させていただきます。
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2026年 3月 31日
試料・情報の 利用または提供 開始予定日	倫理委員会承認日 ～ 2026年 3月 31日
調査データ該当期間	2019年 1月 1日 ～ 2024年 3月 31日
提供する試料・情報の 取得の方法	過去の診療の過程で取得されたものです。